

事業評価調書

◎基本情報

年度	令和5年度	会計コード	10	一般会計	事業コード	23619
事業名	2R推進費					
評価担当課	所 属	環)環境事業部 循環型社会推進			電話番号	211-2928
施策名	誰もがごみの減量・再利用・リサイクルなどに積極的に取り組むと					
アクションプラン	● 対象 ○ 対象外					
事業の性質	○ 経常経費 ● 臨時的経費			○ 内部管理	○ 法定経費	○ 指定管理費
	○ 直営 ● 一部委託 ○ 全部委託 ○ 補助・助成 ● その他					

事業内容	事業の背景(現在の状況、社会的課題)	新スリムシティさっぽろ計画において、3Rの中でも優先順位が高い2R(①リデュース:発生・排出抑制、②リユース:再使用)を推進し、生ごみのさらなる減量に加え、資源物を含めたごみ総量を減らすことが新たな目標とされた。また、国全体のごみ減量施策では2Rの中でも特に「リデュース」の実践が求められているため、さらなるごみの減量にあたっては、市民・事業者と協働しての取り組みを進め、「リユース」についても事業者のノウハウを活用した事業連携を進めていく必要がある。
	事業内容(何を実施し)	①ごみ減量実践事業 ・スクールフードドライブ: 高校単位でフードドライブを実施し、生徒及びその家庭の食品を回収 ・札幌市×セカストinチカホ: チカホにて古着リユース(セカスト)及び小型家電回収(札幌市)を実施 ・食品ロスゼロセミナー: 食品ロス削減に向けた冷蔵庫・冷凍庫の活用術のセミナー開催及び解説動画公開 ・ごみ減量アイデアコンテスト: ごみ減量につながるアイデアを公募し、優秀アイデアをHP等で公開。 ・プラスフード利用支援: フードシェアリングサービス運営事業者へ補助金を提供し、利用促進を図った。 ・ごみ減量レシピコンテスト: 製菓調理専門学校の学生を対象として、ごみの減量につながるレシピを考案・評価するコンテストを実施。優秀レシピはHPや啓発媒体へ掲載。 ・ごみ減量ポータルサイト: ごみ減量や3Rに関する情報を広く継続的には発信するサイトを構築 令和5年度の本事業におけるごみ減量効果の目標値230tに対し、229tの結果となった。 ②ごみ減量実践活動ネットワーク負担金 「ごみ減量実践活動ネットワーク」は、市民・事業者・行政が一体となり、様々な意見を取り入れながらごみ減量の取組を進めるほか、市で事業化できる取組等を模索していく団体。 地元農家と連携し、自家製の生ごみ堆肥と札幌黄が交換できる堆肥化の促進事業(131件交換)や、アウトドアブランドとの連携により服の修理体験イベント(利用者21名)を実施した。
	どのような状態にしたい(状態を維持したい)	様々なごみ減量の取組の実践を促進し、新スリムシティさっぽろ計画に定めるごみ排出量の目標値の達成を図る。ごみ減量実践事業においては、効果の高い企画を把握することで、今後のごみ減量施策の検討につなげていく。
	他都市の状況	他政令指定都市においても、仙台市では分別向上を目指した「ワケルネット」、横浜市はプラスチックごみ削減キャンペーン、京都市では食品ロスの削減を目指した「京都市食品ロスゼロプロジェクト」など、ごみ減量の普及啓発事業を実施している。
	市民参加の実施	☐ 企画 ☐ 実施 ☐ 評価 ☒ 対象外

令和4年度決算額	28,316 千円	うち特定財源	5,890 千円	正規職員業務量	2 人工
令和5年度予算額	18,000 千円	うち特定財源	5,960 千円	正規職員業務量	2 人工
令和5年度決算額	15,886 千円	うち特定財源	5,960 千円	正規職員業務量	2 人工
令和6年度予算額	18,000 千円	うち特定財源	6,656 千円	正規職員業務量	2 人工

指標	アウトプット活動指標1	ごみ減量実践事業における実践的な取組による家庭ごみ削減		という活動、業務を行うことで			
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
		なし	230	229	245	260	280
	↓						
	アウトカム成果指標1	家庭から出る1人1日当たり廃棄ごみ量			という状態にしたい、成果を挙げたい		
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
		382	375	367	365	356	348
	指標1の評価、未達理由、今後の考え方	活動指標及び成果指標ともに概ね目標値を達成できたことから、令和5年度の結果を踏まえた見直し等を行ったうえで事業を継続する。					
	アウトプット活動指標2			という活動、業務を行うことで			
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
	↓						
	アウトカム成果指標2				という状態にしたい、成果を挙げたい		
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
	指標2の評価、未達理由、今後の考え方						

今年度の見直し内容	事業効果を高めていくため、市民の認知を高める周知・広報や、人流の多い施設等において多数の市民が参加できる事業の実施により、多くの市民の認知・参加を図っている。
来年度以降の方向性	各年度の結果の検証や事業内容のブラッシュアップを行い、より効果の高い取組の把握を進めていく。